

第10回 稲刈りに挑戦しよう！

(講師 大神神社神地課職員)

令和元年10月19日(土)

於 大神神社 茅原田
集合 明神道場前駐車場

《稲刈りとは？》

稲刈りとは、熟した「イネ」を収穫するために切り取る農作業。

《収穫した後はどうなるの？》

収穫した稲は、ご神前にお供えをし、収穫に対してや自然に感謝したり、翌年の豊作をお願いします。その起源は古く、人類が食べ物を得るために狩猟から栽培に変化した頃が始まりとされています。

《刈り取るタイミングが大事！》

穂が出てから、約40日から45日、黄金色の稲穂が垂れ下がると稲刈りとなりますが、時期が早くても遅くなくても収穫に斑(ムラ)が出てしまうので、そのタイミングは大切となります。

《神社でよく聞く初穂料との関係は》

その年に初めて収穫されたお米の事を言い、秋の収穫に先立って神様に献じる熟した稲穂の事を意味します。初穂を最初に神前に捧げ豊作の恩恵に感謝する風習から、やがて、農作物や魚類などの初物(はつもの)も、広い意味で初穂として神前に供えるものという意味を持つようになり、次第に、神前に納める金銭の事を「初穂料」と呼ぶようになりました。つまり、お米＝お金だったのです。

《本体験を通して》

現代社会では、自然との関わりが薄れ、若い世代の自然離れが進む一方で、自然と向き合い触れあう中で多くを学び教わる事ができます。何より、地球上で生きている事を実感させ、自然との共生への理解を深めていく良い経験となります。是非、ご参加いただき、三輪山麓の自然体験を通し、「自然」を体で実感し、豊かな自然観を築きましょう。



《注意点》

稲刈りで使う道具は、大変危ないので、先生の説明を聞いて、正確に使いましょう。

※体験中は、安全を考慮し神社職員が付添います。

※鎌などの道具は、神社で準備致しております。

※当日は動きやすい服装でお越し下さい。

参加希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい！初めての方 大歓迎です！

詳しくは大神神社「三輪山体験教室係」へ TEL 0744-42-6633